

## 平成28年度「情報通信月間」東北総合通信局長表彰

## 【個人】

(敬称略)

被表彰者	主な功績
<small>こしむら しゅんいち</small> 越村 俊一 東北大学災害科学国際研究所教授	東日本大震災を教訓に、世界最先端のG空間防災モデルの実証に成功し、第3回国連防災世界会議で国内外に発信するとともに、津波浸水・被害予測の迅速な情報配信を可能とするシステムを開発するなど、自治体の減災力強化に大きく貢献されました。

## 【団体】

(敬称略:五十音順)

被表彰団体	主な功績
福島県郡山市 (市長 <small>しながわ まさと</small> 品川 萬里)	スマートフォンを活用した情報投稿システム「ココナビこおりやま」など、ICTを利活用した取り組みを積極的に推進され、地域の情報化に多大な貢献をされました。
福島県檜枝岐村 (村長 <small>ほし みつよし</small> 星 光祥)	整備した光ネットワークの利活用により、生活に密着した情報配信や遠隔医療支援及びICT教育を実現するなど、地域の情報化の推進に先進的な取り組みをされました。
宮城県石巻市 (市長 <small>かめやま ひろし</small> 亀山 紘)	東日本大震災からの復旧・復興のための地域の情報通信基盤・情報連携システムの構築及びWi-Fiを利用した仮設住宅入居者への見守りサービスを実施するなど、地域の情報化の推進に先進的な取り組みをされました。

## 平成28年度「情報通信の安心安全な利用のための標語」東北総合通信局長表彰

## 【学校部門】

(敬称略)

被表彰校	主な功績
<small>あきたしりつごしょのがくいんちゅうがっこう</small> 秋田市立御所野学院中学校 (校長 <small>よしほら ひろやす</small> 吉原 宏保)	ネットトラブル防止に向けた取組の一環で、生徒会が主体となり全校生徒から標語を募集し、教師、PTA、警察署の方々など、地域の方にも参加いただいた投票による選定、保護者の方への啓発など、安心安全な利用に関わる顕著な活動をされるとともに優秀な作品を創作されました。  標語 「その書き込み 増えるアクセス 減る友人」

## ○「情報通信の安心安全な利用のための標語」表彰

初心者を含む情報通信利用者が情報通信を安心・安全に利用するためのルールやマナー、情報セキュリティに関する意識や知識の重要性に気づき、考えるきっかけとすることを目的として、応募された標語の中から、東北管内の最優秀作品を東北総合通信局長が表彰するものです。